

2026年3月19日

マツダ株式会社

不正アクセス発生による個人情報流出可能性のお知らせとおわび

この度、当社がタイからの調達部品の倉庫業務に利用している管理システムにおいて、外部から不正アクセスが行われた痕跡を確認しました。その後、速やかに個人情報保護委員会(内閣府の外局)へ報告するとともに、外部専門機関と連携して、適切なセキュリティ対策と調査を実施しました。その結果、当社、グループ会社及びお取引先さまの従業員の個人情報の一部が外部へ流出した可能性があることが判明しました。なお、一般のお客さまに関する情報は当該システムには登録しておらず、流出の可能性はございません。

再発防止に向けて、外部からのアクセスに対する監視の強化および通信制御の強化を進めるなど、情報セキュリティ体制の一層の強化に取り組んでまいります。

本件により、多大なるご迷惑とご心配をおかけすることとなり、心よりおわび申し上げます。

■概要

2025年12月中旬、タイからの調達部品の倉庫業務に利用している管理システムにおいて、外部からの不正なアクセスにより、当社が管理する情報が流出した可能性があることが判明しました。社内調査および外部専門機関による調査の結果、当該システムに存在していたセキュリティ上の不備が悪用され、一部の情報へアクセスされたことが判明しております。

■漏えい等が発生したおそれがある個人データの項目

当社、グループ会社及びお取引先さまの従業員の下記情報
(692件)

- ・当社が発行したユーザーID
- ・氏名
- ・メールアドレス
- ・会社名
- ・取引先ID

■原因

当社が業務に利用していたシステムに存在していたセキュリティ上の脆弱性が第三者により悪用され、不正なアクセスが行われたことが本件の原因であると判断しております。これにより、当該システムに保存されていた情報の一部について、外部に流出したおそれが生じました。

■二次被害またはそのおそれの有無およびその内容

現時点では確認されていませんが、今後、これらの個人情報を悪用し、フィッシングメールやスパムメール等が送付される可能性があります。不審なメールを受け取られた場合は慎重にご対応下さいますよう、よろしくお願いいたします。

■当社の対応

当社は本件を把握後、速やかに個人情報保護委員会へ報告するとともに、外部専門機関と連携して、適切なセキュリティ対策と調査を実施しました。

これらの調査結果等を踏まえ、再発防止に向けて、当社は、外部から当該システムへの不正なアクセスを防止するため、インターネットからの通信を最小限とする観点で見直しを行っております。あわせて、アクセスできる接続元の限定、修正プログラムの迅速な適用、ならびにアクセス状況の監視強化を実施し、不審な挙動を早期に検知できる体制の整備を進めております。

今後も、同様のシステムを含め、情報セキュリティ対策の一層の強化に継続して取り組んでまいります。

■お問い合わせ窓口

本件に関し、ご不明、ご不安な点がございましたら、下記のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

<お問い合わせ先> マツダ株式会社 お問い合わせフォーム：

<https://mag.mazda.jp/enq/pub/common/svaccinq>

当社や関係先を装った不審なメールや連絡を受け取られた場合には、記載されたリンクや添付ファイルを開かれないよう、十分ご注意ください。

重ねて、皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを、深くおわび申し上げます。

以上